



TOP > Friends : 友達

### Friends : 友達

Friendsには、ジャンルを問わず宮島永太良の友人知人が登場！  
毎回、親しい視線と言葉で宮島の実像に迫ります。

**ふたり目の登場は上海のテレビウーマン李瑛(Li Ying)さん！  
国境を越え、美術作家/宮島永太良について語ります。**

### ◎李瑛(Li Ying)さんプロフィール

中華人民共和国上海市出身。1954年8月9日生まれ、獅子座。  
上海師範大学物理学科卒業。  
1983年、大学卒業と同時に現在の上海メディアグループ(SMG)に入局。  
現職は、SMG/ART CHANNELのChief Editor & Director。  
高校時代から芸術芸能関係に興味があったが、  
大学進学時は文化大革命終了後で芸術方面の学部へ進むことが叶わず、  
同様に好きだった物理学を選択した才媛。  
大学卒業後の進路は、芸術と物理、このふたつの才能をいかすため、  
現在の中国とは違い、当時の国家がテレビ局へと決めた。  
同期で制作スタッフとしてはただ一人の女性、上海テレビ業界では先駆的な存在。  
今回で来日は2度目、『日本人は規律正しくて親切な人が多い、空気もきれいでエコへの関心も高く見習うべきところも多い、今後の日中両国の相互理解の重要性を感じます』と、チャーミングな笑顔。



### ◎李瑛さんへのインタビュー Q&A



#### Q: 中国のテレビメディアについて教えてください。

A: 中国全ての放送局は国営です。  
その中で最大が北京にある中央電視台(CCTV)は14チャンネルあり、各省に放送局を置いています。それ以外に地方局もかなりありますね。

#### Q: 上海メディアグループ(SMG)は？

A: 上海をベースに11チャンネルあり、それぞれニュース、スポーツ、ドキュメンタリーなど専門分野を持っています。

#### Q: その中で李さんが、所属するアートチャンネルとは？

A: 番組編成は、視聴者が多い土日に重点を置き、毎日20時間放送。放映内容は、美術、音楽等の芸術系を中心に映画からバラエティまであるチャンネルです。

#### Q: 視聴者層は？

A: CMスポンサーの関係上、データのこちらがターゲットにしているのは20代中頃から40代中頃までですが、実際には10代の視聴者も多いようです。

#### Q: そのアートチャンネルで今秋、宮島永太良さんの番組を放映するそうですね。わかる範囲で内容を教えてください。

A: 番組の概要ですが、題名はまだ決まっていません。30分番組で実際の放映時間は26分間。現段階の構成案としては、春秋のふたつの上海個展と今回の日本、この3つを柱にして編集するつもりです。まだまだ考えなければならぬことがたくさんあり、思案中。



#### Q: そうですか、まだまだこれからも取材続行ですね。では、質問を変えて宮島さんについて伺います。最初に会ったのは何時頃ですか？

A: まだ寒かった今年3月の中旬、上海でした。私が毎年、チャリティー関連の番組制作をしている関係で出会いました。



#### Q: 第一印象はいかがでした？

A: お会いする前、宮島さんの情報はいただいていましたが、初対面では、それまで私が会った日本人男性とは、随分違う印象を受けました。

#### Q: どんな印象でしたか？

A: 40代の男性にしては、静かな雰囲気、少年のような表情、同年代では考えられない純粋さを感じ、失礼かもしれませんが、可愛いとも思いました(笑)。ただ、外見とは違う精神的な強さも感じました。それは、きっと作品にも通じていますね。



#### Q: 作品に？

A: 今春、上海美術館で作品を拝見し、誤解を恐れずに言えば、宮島さんより上手く描くアーティストはいます。ただ、彼が違うのは美術評論家の目や他人の評価を全く度外視して、打算に走らず独自の世界を40代まで展開してきたことにあると思います。

その執念、素晴らしさが作品に反映され、人々の心に残るのだ。

これは、美術に対して素人の私の意見でしたが、今回の番組制作上、彼の作品について中国の美術評論家にインタビューをすると、ほとんどの人が同意見でした。そして、宮島作品は一度見ただけではわかりません。見れば、見るほど味わいがあり、奥が深く魅力がある…

#### Q: 番組ではその辺りも反映されますか？

A: 思案中ですが、大筋としては宮島さんの実像と作品を通して、現代中国にお金だけではなく『人間としての本当の幸福』の意味、人として失ってはならないことが、視聴者に問いかける番組になれば、嬉しいですね。



#### Q: 最後の質問です。今後の宮島さんに望むことをお話しください！

A: 宮島永太良さんは人混みに紛れると一体化します。でも表面上と反して、心の奥底にある情熱は常に前向き、これからもその気持ちを持ち続け、作品制作、チャリティー、そして日中両国の友好に力を注いでいただければと思います。今後の活躍、世界への飛躍を心から祈っています。そして、今秋の取材も宜しく願っています。また、上海でお会いするのを楽しみにしています。

謝謝♪  
今日は、貴重なお話をありがとうございました。

▲ Page Top

by Sekikobo

- Contents Menu ●
- TOP
- Topics
- Event
- Gallery
- Art Works
- Biography
- Media
- Talk
- Friends
- Essay
- Information ●
- Blog
- Link
- Contact us
- Terms of use
- Back number
- Download